

事業計画書

<p>現在の地域課題に対する本事業での実施内容</p>	<p>子どもやママ(保護者)の居場所をつくる取り組みを行う</p> <p>現在の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生後3か月～6か月頃(寝返り前後)の赤ちゃんと保護者が、気軽に外出・交流できる場が少ない</li> <li>・子育て支援センターは月齢が低いと利用のハードルを感じやすい</li> <li>・動ける子が多く、行き辛さを感じる保護者がいる</li> <li>・初めての育児で、身近に相談相手がいない保護者も多い</li> <li>・小さな子どもと2人で過ごす時間が長く、孤独感や不安感を抱えやすい</li> <li>・SNSやインターネットの情報過多により、育児への不安が増大している</li> <li>・産後の心身の不調(産後うつ・育児疲れ)が表面化しにくい</li> <li>・育児の悩みを「相談していいこと」と思えず、抱え込んでしまう保護者が多い</li> </ul> <p>本事業での取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ベビーマッサージやワークショップを通して親子が自然に関われる時間の提供</li> <li>・保護者同士が気軽に会話ができる、緩やかな交流の場を提供</li> <li>・育児の悩みや心身の不調を早期に言葉に出る環境を整える</li> <li>・保護者の孤独感、不安感の軽減</li> <li>・親子の愛着形成の促進</li> <li>・地域でのつながり作り、孤立した子育ての予防</li> </ul> <p>これらの取り組みを通して子育て中の親子がほっと一息つき、安心して集える居場所を地域の中に育てていくことを目的とします。</p>
<p>対象となる人・範囲</p>	<p>子育て中の親とその子を主たる対象者</p>
<p>事業の効果、達成目標 (達成目標はできる限り数値で示すこと)</p> <p>記載ポイント</p> <p>事業の ・公益性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年48回の開催</li> <li>・延べ190人の参加者</li> <li>1回あたりの目安が5人くらい、少人数で始めていき段々大きくしていく予定</li> <li>・年4回のマルシェ</li> <li>・延べ60人の参加者</li> <li>1回あたりの参加者の目安15人</li> <li>・年2回の講師を呼び女性に必要な学びを提供することで、心身の不調や不安を取り除き、生き生きと過ごしてもらう。</li> </ul> <p>本事業は地域に暮らす女性や子育て世代が、ほっと一息つきながら安心して集い、心と体の健康を大切に出来る時間と場所を育てていくことを目的とした活動です。</p>
<p>詳細</p> <p>(活動内容・方法・スケジュール等をできるだけ詳しく、別添資料のある場合はその旨を記載する)</p> <p>記載ポイント</p> <p>事業の ・独自性 ・発展性 ・実現可能性 ・団体の自立</p>	<p>月4回の野沢多目的広場で子育て中の保護者を中心に心身の不調や不安を和らげる居場所作りを行う。(ベビーマッサージやハンドケアなど)</p> <p>年4回のマルシェを通して、地域の人が気軽に集い、心と体を整えながら人と人との交流を促進することで、地域の繋がりを育むことを目的としています。一人ひとりが「ここに来てよかった」と感じられる空間を大切にしています。</p> <p>すでに地域で継続的に活動実績があり、参加者からの継続的なニーズもある。他団体との連携や、活動回数の増加を視野に入れ、地域に根付いた活動として発展させていく。</p>
<p>重点テーマに該当する理由</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもや保護者の居場所を作る取り組み</li> </ul> <p>赤ちゃんからのお子様と保護者の方が気軽に來れて、情報交換や安心して交流できる場所である。</p> <p>子どもの動きがまだ活発でない寝返り前後の時期など支援センターに行くのに躊躇する方々も、外に出て大人と会話したり他の保護者と交流を通して、子育ては孤独ではない、頑張らなくてもいい時間を少しでも感じてもらい、講座も通して心身の健康を向上させる取り組みも行っていきます。</p> <p>以上の理由で重点テーマに該当します。</p>
<p>翌年度以降の取組</p>	<p>次年度以降も継続的な開催を行いながら、参加者の声を反映し、内容の充実を図る。地域との連携を深め持続可能な活動として定着させていく。</p>